

■ 研究所共同館の完成 ～コミショニングへの取り組み～

2013年3月に研究所共同館が完成しました。設計コンセプトは「研究」を育む環境・「交流」を促す環境・「自然」を育む環境です。「研究」・「交流」に関しては、明確な階別ゾーニングや将来の発展的整備も見据えた構造とし、「自然」に関しては省エネルギー・環境負荷低減の手法を取り入れています。また、研究所共同館では、NPO法人日本コミショニング協会監修のもと、日本で初めて企画、設計、施工、運用に至る各段階において、建築・設備両面から「コミショニング」に取り組みました。「コミショニング」とは建物やその設備を、環境・エネルギーならびに使いやすさの観点から使用者の求める要求性能を文書化し、第三者が各段階において要求性能が確保されているか検証する仕組みです。この仕組みにより、設計・施工品質向上や、要求性能の実現によりライフサイクルコストが低減されるメリットがあり、今後の運用段階におけるコミショニングの効果が期待されています。



■ 環境サークル「Song Of Earth」の活動

名古屋大学環境サークル「Song Of Earth」は、1994年に環境活動に関心を持つ学生有志が集まり、結成されました。あらゆる大学構成員の協力・努力によって、システム面・個々人の行動面で、環境への負荷のより少ない大学へと変わることを目指して、調査・提案・企画を行っています。自然と触れ合う機会を設けることで、一般学生の自然を愛し、大切にしようと思う気持ちを高め、また、身近な大学という場での環境活動に取り組むことで、環境問題に対して努力し、何らかの改善を見いだすことができるという希望を増やすことを目指し、さまざまな活動を行っています。



■ 学外関係者との環境コミュニケーション

本学の環境問題と環境報告書における記載の改善を図る取り組みとして、「名古屋大学環境報告書2013」の内容並びに環境活動について、国立大学法人三重大と環境コミュニケーションを開催しました。学外関係者(Stakeholder)との忌憚のない意見交換を行うことで、環境報告書に対する意見、大学におけるエネルギー対策やゴミ処理対策、環境活動に対して学生の参画状況など、有意義な情報を共有することができました。



■ CO₂排出量削減のためのアクションプラン

名古屋大学は、2014年における東山・鶴舞・大幸キャンパスのCO₂排出総量を2005年度比で20%以上削減することと、その実現に向けてのアクションプランを「名古屋大学キャンパスマスタープラン2010」において公表しました。アクションプランを実施して3年目となった2012年度は2005年度比でCO₂排出総量がすでに19%の削減となりました。

■ 国立シンガポール大学との安全衛生管理の相互連携

2012年より名古屋大学は、安全衛生管理・安全教育のレベルの高さが評価されている国立シンガポール大学と安全衛生管理の相互連携を開始しました。こうした連携により、名古屋大学の安全衛生管理のレベルアップを図っていきます。



名古屋大学総長
 濱口道成

総長メッセージ

総長就任時に取り組むべき目標として濱口プランを発表し、2012年度に至る3年間、その達成に努めてまいりました。その成果と名古屋大学をとりまく諸情勢の変化に基づき、私の任期の後半に向けての課題を濱口プランver. 2013として整理しました。ここでは、「教育・研究・社会貢献」などの大学の活動の本体に関わる活動や「附属病院・附属学校」の強化と並べて、「業務運営・財務内容」などマネジメントやガバナンスの強化に関する課題も掲げました。私が宣言しました温室効果ガスの削減プランは、本報告書によって着実に目標達成に向かっていくことがお分かりいただけると思います。さらに、省エネルギーや廃棄物対策などの環境問題に関わる以前からの課題でも成果を上げております。ここに至って、国際化の急速な進展と東日本大震災に伴うさまざまな問題が、名古屋大学が取り組むべき課題を変化させてきました。特に南海トラフによる巨大地震へ備えるための防災は、本学をはじめとする日本の大学が世界の模範になるべきものです。さらに、学生諸君や教職員の皆様の勉学・研究・職場における環境と安全を一層向上させ、より快適で安全なキャンパスを作るためのマネジメントやガバナンスの強化も、教育・研究など本学のあらゆる活動を支える基礎となる課題として取り組んでいきます。名古屋大学が環境問題に加えて防災・キャンパスの安全などさまざまな問題でも世界で最も先進的な大学にすることで、世界中から多くの若者が共に学ぶために集い、人類の未来を築くリーダーとして活躍する人材を輩出するよう努めてまいります。

2013年7月

■ 環境方針

名古屋大学は、その学術活動の基本理念を定めた「名古屋大学学術憲章」において、「自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする」と記している。名古屋大学は、この学術憲章に基づき、文明の発達や現代人の行動が未来の世代に与える影響の重大さを認識し、想像力豊かな教育・研究活動による人類と自然の調和的発展への貢献と社会的役割を果たしていくために、次の基本理念と基本方針を定める。

1 基本理念

名古屋大学は、人類が築きあげてきた多様な文化や価値観を認め、次世代のために真に尊重すべきことは何かを考え、持続可能な社会の実現に貢献する。

2 基本方針

基本姿勢

(1) 名古屋大学は、環境問題の原因を究明し、これらに適切に対処していくため、すべての学術分野において、持続可能な発展を目指した教育と研究を進める。

環境マネジメント

(2) 名古屋大学は、環境マネジメントの継続的改善を図るため、大学のあるべき姿となすべき行動を関係者とともに考え、実践し、追求する。

環境パフォーマンス

(3) 名古屋大学は、自らの活動が環境に及ぼす影響や負荷を関係者とともに認識し、環境負荷の低減や未然防止に向けた総合的かつ体系的な課題解決に努める。

社会的責任・環境コミュニケーション

(4) 名古屋大学は、法令等の遵守、倫理の尊重、情報の公開、関係者とのコミュニケーションや相互理解を通して、地域社会や国際社会からの信頼を高める。

(2005年8月 1日総長裁定)
 (2010年10月 12日改訂)

報告対象期間	環境管理全般	地球温暖化対策・省エネ対策	廃棄物対策	化学物質管理	市民・学生とのかかわり																
2008年度	<ul style="list-style-type: none"> ●2008年「名古屋エコ事業所優秀賞」の受賞(2009年2月)  <p>平成19年度省エネルギー優秀事例全国大会「経済産業大臣賞」</p>  <p>2008愛知環境賞「優秀賞」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●附属図書館とESCO事業者が省エネルギー実現のための包括的サービスを契約(2008年8月) ●「名大発ESCO」省エネルギー推進事業の開始(2008年7月～) <p>◎温室効果ガス排出量(CO₂換算、2006年度比)</p> <table border="1"> <tr><th>2008年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒11.0% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒1.0% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒8.8% ↓</td><td>赤</td></tr> </table>	2008年度実績	評価	東山キャンパス⇒11.0% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒1.0% ↑	赤	大幸キャンパス⇒8.8% ↓	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理取扱者講習会の開催(2008年6月) ●名大生協のレジ袋有料化(2008年10月)  <p>レジ袋有料化のお知らせ</p> <p>◎可燃ごみ・不燃ごみ廃棄量(対前年比)</p> <table border="1"> <tr><th>2008年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒6.1% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒1.0% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒26.1% ↓</td><td>赤</td></tr> </table>	2008年度実績	評価	東山キャンパス⇒6.1% ↑	赤	鶴舞キャンパス⇒1.0% ↑	赤	大幸キャンパス⇒26.1% ↓	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質管理システム(MaCS-NU)利用者講習会の開催(2008年6月) ●330研究室による約12万本の登録  <p>2008年度有機廃液回収作業風景(東山キャンパス)</p> <p>◎化学物質管理システム登録率⇒69%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋大学公開講座開催(2008年8月～10月) ●第四回「ホームカミングデー」開催—同窓生、学生の家族および近隣住民約5,000名参加  <p>出演者と子ども達によるサイエンスショーでの実験風景</p>
2008年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒11.0% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒1.0% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒8.8% ↓	赤																				
2008年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒6.1% ↑	赤																				
鶴舞キャンパス⇒1.0% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒26.1% ↓	赤																				
2009年度	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂排出量削減のためのアクションプラン(2014年時点で2005年度比20%削減) ●2009年度「エネルギー管理功績者 中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰」受賞 ●「環境報告書賞 公共部門賞」受賞(東洋経済新報社、グリーンリポーターングフォーラム主催) 	<ul style="list-style-type: none"> ●鶴舞キャンパスにおけるESCO事業の実施 ●省エネパトロールの実施 <p>◎温室効果ガス排出量(CO₂換算、2006年度比)</p> <table border="1"> <tr><th>2009年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒14.1% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒2.8% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒8.8% ↓</td><td>赤</td></tr> </table> 	2009年度実績	評価	東山キャンパス⇒14.1% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒2.8% ↑	赤	大幸キャンパス⇒8.8% ↓	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理取扱者講習会の開催(2009年6月) <p>◎可燃ごみ・不燃ごみ廃棄量(対前年比)</p> <table border="1"> <tr><th>2009年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒19.8% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒2.0% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒14.0% ↑</td><td>赤</td></tr> </table>	2009年度実績	評価	東山キャンパス⇒19.8% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒2.0% ↑	赤	大幸キャンパス⇒14.0% ↑	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質管理システム(MaCS-NU)の強化 ●大学内全吹付けアスベスト処置の完了(2010年3月) ●鶴舞キャンパスの作業環境改善に着手 <p>◎化学物質管理システム登録率⇒63%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●『ECO LABO』プロジェクト(名チャリプロジェクト2009) ●小型家電回収実験の実施 ●騒音対策(防音パネルの設置)を実施 ●大幸キャンパスの禁煙活動
2009年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒14.1% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒2.8% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒8.8% ↓	赤																				
2009年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒19.8% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒2.0% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒14.0% ↑	赤																				
2010年度	<ul style="list-style-type: none"> ●基本姿勢、環境マネジメント、環境パフォーマンス、社会的責任・環境コミュニケーションの4つの基本方針が見える形に環境方針を改訂 ●環境方針と大学の取組を関連づけて編集 ●環境に関連した教育・研究活動等の一覧表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●鶴舞キャンパスにおける附属病院ESCO事業の実績 CO₂削減量7,207t減 ●省エネパトロールの実施 <p>◎温室効果ガス排出量(CO₂換算、2009年度比)</p> <table border="1"> <tr><th>2010年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒9.5% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒21.1% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒18.4% ↑</td><td>赤</td></tr> </table>	2010年度実績	評価	東山キャンパス⇒9.5% ↑	赤	鶴舞キャンパス⇒21.1% ↓	赤	大幸キャンパス⇒18.4% ↑	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理取扱者講習会の開催(2010年6月) <p>◎可燃ごみ・不燃ごみ廃棄量(対前年比)</p> <table border="1"> <tr><th>2010年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒3.0% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒6.3% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒30.0% ↑</td><td>赤</td></tr> </table>	2010年度実績	評価	東山キャンパス⇒3.0% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒6.3% ↑	赤	大幸キャンパス⇒30.0% ↑	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質管理システム(MaCS-NU)の強化 ●化学物質の納入時登録システムの導入(2010年5月) <p>◎化学物質管理システム登録率⇒100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境サークル「Song Of Earth」の活動 ●COP10に関する協力活動  <p>ごみ拾い活動の様子</p>
2010年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒9.5% ↑	赤																				
鶴舞キャンパス⇒21.1% ↓	赤																				
大幸キャンパス⇒18.4% ↑	赤																				
2010年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒3.0% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒6.3% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒30.0% ↑	赤																				
2011年度	<ul style="list-style-type: none"> ●エコ大学ランキング 全国1位 ●2011年度「省エネ大賞」会長賞受賞  <p>エコ大学ランキング全国1位</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災を受けて、総長から、さらなる省エネ施策の推進を強化するために発した「エネルギー使用に関する緊急声明」を掲載し、省エネ推進の協力を呼びかけ <p>◎温室効果ガス排出量(CO₂換算、2009年度比)</p> <table border="1"> <tr><th>2011年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒5.0% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒24.5% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒22.4% ↑</td><td>赤</td></tr> </table>	2011年度実績	評価	東山キャンパス⇒5.0% ↑	赤	鶴舞キャンパス⇒24.5% ↓	赤	大幸キャンパス⇒22.4% ↑	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理取扱者講習会の開催(2011年6月・12月) <p>◎可燃ごみ・不燃ごみ廃棄量(対前年比)</p> <table border="1"> <tr><th>2011年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒2.0% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒1.2% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒37.7% ↓</td><td>赤</td></tr> </table>	2011年度実績	評価	東山キャンパス⇒2.0% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒1.2% ↑	赤	大幸キャンパス⇒37.7% ↓	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質管理システム(MaCS-NU)の強化 ●高圧ガスシステム(MaCS-G)の導入 <p>◎化学物質管理システム登録率⇒100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境サークル「Song Of Earth」の活動 ●COP10 社会と学術対話フォーラムを開催  <p>花いっぱい運動</p>
2011年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒5.0% ↑	赤																				
鶴舞キャンパス⇒24.5% ↓	赤																				
大幸キャンパス⇒22.4% ↑	赤																				
2011年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒2.0% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒1.2% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒37.7% ↓	赤																				
2012年度	<ul style="list-style-type: none"> ●研究所共同館の完成 ●学外関係者との環境コミュニケーション ●国立シンガポール大学との安全衛生管理の相互連携 ●環境安全衛生講演会   	<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋大学の環境安全推進本部会議にて、環境行動計画の承認 <p>◎温室効果ガス排出量(CO₂換算、2009年度比)</p> <table border="1"> <tr><th>2012年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒1.3% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒25.2% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒33.9% ↑</td><td>赤</td></tr> </table>	2012年度実績	評価	東山キャンパス⇒1.3% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒25.2% ↓	赤	大幸キャンパス⇒33.9% ↑	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物処理取扱者講習会の開催(2012年6月・11月) <p>◎可燃ごみ・不燃ごみ廃棄量(対前年比)</p> <table border="1"> <tr><th>2012年度実績</th><th>評価</th></tr> <tr><td>東山キャンパス⇒12.6% ↓</td><td>赤</td></tr> <tr><td>鶴舞キャンパス⇒2.7% ↑</td><td>赤</td></tr> <tr><td>大幸キャンパス⇒15.6% ↑</td><td>赤</td></tr> </table>	2012年度実績	評価	東山キャンパス⇒12.6% ↓	赤	鶴舞キャンパス⇒2.7% ↑	赤	大幸キャンパス⇒15.6% ↑	赤	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質管理システム(MaCS-NU)の強化 ●高圧ガスシステム(MaCS-G)の本格始動 ●MaCS-NU およびMaCS-G講習会の開催(2012年5月・6月) ●長期滞留ボンベ返却に向けての調査 <p>◎化学物質管理システム登録率⇒100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●騒音対策(インバーター制御に交換、カバーの設置)を実施 ●環境サークル「Song Of Earth」の活動  <p>ごみ拾いでエコ～♪</p>
2012年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒1.3% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒25.2% ↓	赤																				
大幸キャンパス⇒33.9% ↑	赤																				
2012年度実績	評価																				
東山キャンパス⇒12.6% ↓	赤																				
鶴舞キャンパス⇒2.7% ↑	赤																				
大幸キャンパス⇒15.6% ↑	赤																				

名古屋大学における省エネルギー活動 2004年以後の主な活動

- ※名古屋大学の主な活動(建築設備関連の省エネルギー対策は右記※)
- ①各キャンパス毎の毎月のエネルギー使用量・省エネ対策のホームページ公開(2004年～)
- ②夏季および冬季省エネルギーキャンペーンおよび昼休み消灯キャンペーン実施(2004年～)
- ③東山キャンパスにおける夏季の契約電力超過予測時の電力抑止メール発信(2004年～)
- ④省エネチェックシートによる省エネ活動状況調査と公開(2005年～)
- ⑤省エネ推進担当者の選任による体制整備(2005年～)
- ⑥夏季一斉休暇(8月平日2日間)によるエネルギー消費削減開始(2005年～)
- ⑦省エネパトロールの実施(2009年～)

- ※研究所共同館における省エネルギー対策(2012年度実績)
- ①全館LED
- ②アースチューブとエコシャフトを導入
- ③自然換気を促す吹抜け空間を確保
- ④彫りの深い窓による効果的な日射遮断
- ⑤壁面緑化
- ⑥高効率水冷ヒートポンプチラーの導入
- 建築物環境配慮制度(CASBEE名古屋)で最高ランク「S」評価を取得

